

1

問1

AIにおけるエラーはアルゴリズムに固定されてしまうため、その技術が広く使用された場合、短期間で何千人もの人々に回復不能な損害を与える可能性があるから。

問2

1つは、人間のプログラミングミスによるコードのエラーで、誤ったガイダンスを提供してしまう可能性。もう1つは、開発者等が利益の最大化や慣行の隠蔽などを目的として、非倫理的にAIを設計する可能性。

問3

特定のシステムが停止させられる他、AIの性能や推奨内容が変化させられたり、データが身代金目的で奪われたりするという問題。

2

問1

騒音は患者の健康にインパクトを与える、特に絶え間ないアラームは、せん妄の原因となる。騒音は患者のサーカディアンリズムに関連する不快を生み出している。

問2

米国医療感染症学会は、感染対策と持続可能性のバランスが取れない場合、患者の健康に深刻な問題が生じるため、このジレンマを解消するためには持続可能性の専門家と感染管理の専門家が連携する必要があると指摘している。

問3

経験に基づくマインドフルネスは、非常に複雑で細かな作業である。例えば運転の知識のような単純な動作でさえ、知識と時間と実践の相互作用から生まれる。看護師にも同じことが言える。誰もが実践において持続可能な行動をとるわけではないが、ICU 看護師の経験的知見からえた認知的・教育的ニーズを踏まえると、当初の実践は複雑で不自然なものである。当初は複雑だが、「時間」を経て看護師は自らの実践に対する気づきを深め、持続可能な行動を本質的で自然な実践へと昇華させていく。

3

問 1

The percentage of adults who do not get enough sleep varies by where they live and their sex, age, and race/ethnicity.

問 2

Scientific consensus is growing around the risks posed by climate change to global health, yet data gaps and interdisciplinary challenges remain.

問 3

Virtual simulation technology through digital learning environments is increasingly being used as a nursing education tool to enhance learning and delivery of care.